



【先週 6月21日～6月27日の外食の出来事】

■三光マーケティングフーズ、第3四半期(19年7月～`20年4月)の業績 減収赤字

2020年6月期 第3四半期(2019年7月～2020年3月)の業績を発表。売上高69億800万円(対前年比14.8%減)、営業損失9億8600万円(-)、経常損失9億7700万円(-)、四半期純損失19億9200万円(-)であった。

■業績低迷の「大戸屋」 経営陣刷新案を否決

大戸屋の株主総会で、大株主の「コロワイド」が突きつけていた経営陣の刷新は反対多数で否決。大戸屋をめぐっては、筆頭株主のコロワイドが、業績の低迷を問題視し、自社の取締役を送り込む経営陣の刷新を求めている。

■チムニー、2020年3月期(19年4月～`20年3月)の連結業績 減収減益

2020年3月期 通期の連結業績は売上高411億700万円(対前年同期比10.0%減)、営業利益2億8300万円(同88.5%減)、経常利益3600万円(同98.5%減)、当期純損失28億1200万円(-)であった。

■ギフト、上半期(2019年11月～2020年4月)の連結業績 増収減益

2020年10月期 第2四半期の連結業績は売上高53億100万円(対前年同期比22.3%増)、営業利益2億9200万円(同46.8%減)、経常利益3億1800万円(同42.6%減)、四半期純利益1億7100万円(同51.7%減)であった。

■フレンドリー、りそなから2ヶ月間のつなぎ融資

株式会社フレンドリーが、2億8千万円をりそな銀行から約2ヶ月間借り入れる。実行日は7月10日、返済期限は9月30日。しかも、2020年3月期決算で最終赤字26億3百万円ということもあり、担保有という条件。

■ワタミ、から揚げで自社デリバリー開始 配送手数料を下げ、注文しやすく

ワタミが、デリバリー戦略として「ワタミデリバリー」を立ち上げ、7月1日より順次事業を開始。「ワタミデリバリー」は、同社の中でも特に中食需要の高い、「から揚げの天才」及び「bb.q オリーブチキンカフェ」の2業態を対象に行う。

■出前館の9～5月、41%増収 宅配需要拡大で

宅配サイト運営の出前館の2019年9月～20年5月期連結決算は、売上高が前年同期比41%増の68億円だった。感染拡大に伴う外出自粛で宅配需要が伸びており、注文に応じて店舗から受け取る手数料収入は39%増えた。

■壺番屋、純利益76%減 3～5月 内外で客数落ち込み

2020年3～5月期の連結決算は、純利益が前年同期比76%減の2億5300万円だった。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う外出自粛により、国内外の店舗で客数が落ち込んだ。同期間では2年ぶりの減収減益となった。

■苦戦続く外食 売上高32%減、下落率は縮小—5月

日本フードサービス協会が発表した5月の外食産業売上高は前年同月比32.2%減と3カ月連続でマイナス。ただ、緊急事態宣言の解除に伴い、営業が一部再開されたため、下落率は4月(39.6%減)からやや縮小した。